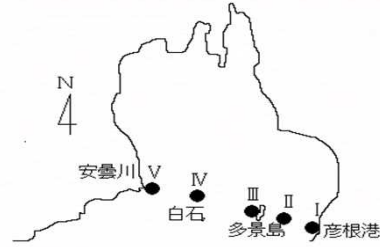


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和3年12月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和3年12月14日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

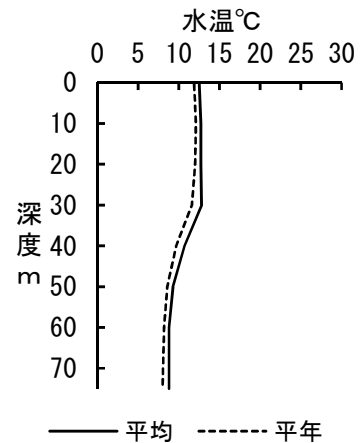
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2011年～2020年(平成23年～令和2年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 12月平均値 6.6m 平年値 7.3m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	12.5	11.9	+0.6
10	12.7	12.1	+0.6
20	12.7	12.0	+0.7
30	12.8	11.6	+1.2
40	10.7	9.7	+1.0
50	9.3	8.6	+0.7
60	8.8	8.2	+0.6
75	8.8	8.0	+0.8



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
11月下旬	13.9	13.7	+0.2
12月上旬	12.5	12.2	+0.3
12月中旬	11.5	10.7	+0.8

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	5.4	9.2	-3.8
10~20	3.6	3.6	+0.0
20~40	2.7	2.7	+0.0
40~75	0.5	0.8	-0.3

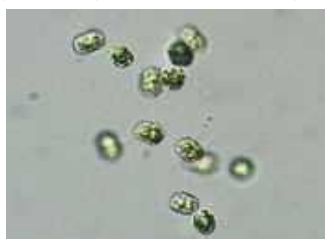
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンについては、全ての地点で*Cosmocradium constrictum*(コスモクラヂウム:緑藻)が細胞数で最も多く確認された。

動物プランクトンについては、地点1で*Ploesoma sp.*(スジワムシ属:ワムシ類)が、地点2、3、4、5で*Eodiaptomus japonicus*(ヤマトヒゲナガケンミジンコ:カイアシ類)のものと思われるノープリウス期幼生が個体数密度で最も多く確認された。



Cosmocradium constrictum



Ploesoma sp.



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L)

深度 (m)	12月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.0	96.8	10.2	97.9	-0.2	(-1.1)
10	9.8	96.0	10.1	97.1	-0.3	(-1.1)
20	9.9	95.9	10.0	96.1	-0.1	(-0.2)
30	9.8	95.4	9.4	89.5	0.4	(+5.9)
75	4.2	37.2	4.1	35.2	0.1	(+2.0)